

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

- ① 0歳から18歳までの切れ目のない『子どものすこやかな育ち』支援
- ② 潜在的な障害者、発達障害者など気になる子ども、貧困を抱える子どもなど、複合的な問題を抱える家庭の経済的支援、相談環境の拡充

【課題を踏まえ設定した体制】

- ・子どもの包括的な相談窓口の開設
- ・情報共有による連携強化
- ・指導者支援者への研修会の実施



成果

- ① 子どもの相談窓口の明確化
- ② 切れ目ない支援の実現化
- ③ 就学相談に対する園や就学前保護者の意識改革

【今後の課題】

- ① 発達障害の早期の気づきと対応
- ② 義務教育終了後の支援
- ③ 発育、発達の阻害要因への対策
- ④ 相談支援ファイルの活用機会の設定、医療・教育・支援機関への周知の徹底

事業内容

上越市切れ目ない支援体制整備充実事業

現状では年齢を問わず支援しているが、本事業では乳幼児から中学生までの支援を、これまでの支援に加えて拡充し、実施。

【具体的な取組内容】

- ① 児童発達支援専門員、相談支援員の任用
- ② 相談支援ファイル「わたしのきろく」の作成と配付
- ③ 事業周知カードの作成（市内高校に設置）
- ④ 学識者との意見交換を踏まえ、庁内ワーキンググループで事業を検討
- ⑤ 就学アドバイザーの任用（健康福祉部と学校教育課の連携）
（園・学校訪問、就学相談対応、こども発達支援センターでの療育）

